

修士論文に向けて ～ テーマについて ～

南山大学 数理情報研究科 数理情報専攻
M2012MM022 森下 月菜



やりたいこと / やれたら良いなと思うこと

1. 要求を数値で扱う

- ✓ スコープは未定
 - ✓ どのプロセスのどの要求を数値で扱うようにするのか？
 - ✓ メトリクスで要求を評価？
 - ✓ 顧客の満足度評価？
 - ✓ 要求の妥当性評価？

OR(Operations Research)の手法が使えないかなあと考えたことも...

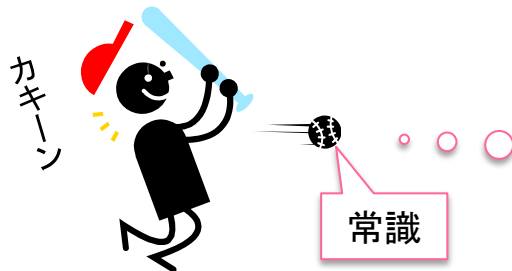
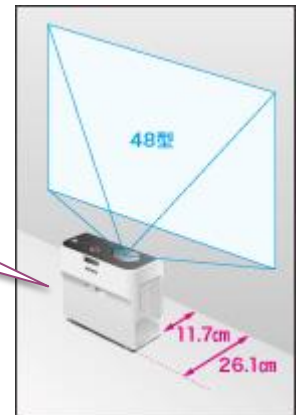
ORでは「満足度最大化」を定式化できるらしい



2. UX (User Experience) の研究

- ✓ 認識されていないUXをどう獲得するか
 - ✓ 改善すべきなのに「どう改善すると良いのか不明」
 - ✓ 隠れた不満を発見 → UX向上？
- ✓ 集合知やRDFに蓄積された「負」の情報を利用 → UX向上？

RICOHの長短焦点プロジェクタ



業界などの「今までの常識」を覆せばUXは向上する気もしますが...



参考文献 (1/4)

- 長田 晃, 特定分野のソフトウェアに関する特性の相関を用いた要求獲得法, 電子情報通信学会技術研究報告(ソフトウェアサイエンス), pp.1-6 (2005), <http://kaiunix.cs.shinshu-u.ac.jp/eng/Resource/sigss200506osada.pdf>
 - ✓ 提案手法
 - ✓ ドメイン特性とその相関を表すメタモデル, および既存システムのドキュメントを用いた当該ドメインのモデルを構築する手法
 - ✓ 応用
 - ✓ 要求獲得/変更時に要求間の相関を考慮可能
 - ✓ 仕様書の正当性と無矛盾性を向上可能



参考文献 (2/4)

- 渡辺 千恵子, 要求定義フェーズの終了判定予測 - 定量的なアプローチによる属人的な意思決定からの脱却-, プロジェクトマネジメント学会2006年春季研究発表大会予稿集, pp. 1-6 (2006), <http://ci.nii.ac.jp/naid/110007602533>.

- ✓ 提案内容

- ✓ システム開発の下流工程における「定量化」「数値化」「可視化」を用い
上流工程の要求定義の終了を予測

- ✓ 技術

- ✓ 未決・課題のメトリクスデータに着目
- ✓ 「未決・課題の発生頻度」を可視化
- ✓ 定義書の充足度の予測



参考文献 (3/4)

- Mohammed Javeed Ali, Metrics for Requirements Engineering, <http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/0164121294001279>, 2006.
 - ✓ 内容
 - ✓ 品質の属性に基づき, 会社で開発されているソフトウェアの測定に役立つ
 - ✓ 技術
 - ✓ 測定要件メトリクス
 - ✓ 自動的に要件のツールを評価する



参考文献 (4/4)

- 松村 知子, 他, ソフトウェア開発の要求品質の向上のためのユーザ・ベンダ間のコミュニケーションの計測方法と計測例, 2011,
<http://isw3.naist.jp/IS/TechReport/report/2011002.pdf>.
 - ✓ 内容
 - ✓ コミュニケーション分析の有効性の評価
 - ✓ 目的
 - ✓ 要件定義におけるユーザ・ベンダ間のコミュニケーションデータの定量化, 分析
 - ✓ 要件に関するリスクや下流工程での品質を予測
- 細野 直恒, 感性官能評価を適用したユーザ中心設計, 2004.
 - ✓ 提案内容
 - ✓ ユーザ中心設計(UCD)に感性官能評価を組合せること
 - ✓ マーブル法と官能性評価の組み合わせ結果の解析方法

